



志清同友会
林 太樹 議員

重層的支援体制整備事業について

問 生活困窮者などの受入れ体制拡充および地域づくりの支援強化は。

答 令和5年度は、社会福祉課内に福祉総合相談室を設置し、市民からの相談の検証や地域の取組を確認し、令和6年度より課題解決に向けた参加支援事業や地域づくり事業に取り組んでいきたい。また、ご近所福祉ネットワーク活動等を通して、地域の課題解決に向けて話し合いを重ねていきたい。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 第8波オミクロン株への感染対策はどのように進めたのか。

答 3密回避、マスク着用、手指衛生、換気等について、広報やホームページ等で普及啓発を行うとともに、令和4年10月からは、オミクロン株対応のワクチン接種を開始し、接種機会確保に努めた。

問 マスク着用自由化による小中学校の対応は。

答 教育長 4月1日以降の学校教育活動については、マスク着用を求めないことが基本とされ、運用については改めて国から示される予定と聞いている。今後も地域や学校の感染状況に応じ、国や県が示す新たな方針等を参考にしながら、子どもたちの安全確保を最優先に適切に対応していく。



「おはなしはマスク」啓発ロゴ



志清同友会
林 下 豊彦 議員

サンドーム福井でのコンサート開催時のおもてなしについて

問 ボランティア団体「鯖江おせっ会」が、鯖江駅の来訪者のために、道案内や手荷物預かり、写真撮影等のおもてなしを行っており、SNSには感謝の言葉が投稿されている。この活動についての市の考えは。

答 「鯖江おせっ会」のおもてなしについては、県内外の来訪者から多くの感謝の言葉が寄せられ、ふるさと納税にもよい影響が出ており、市として深く感謝している。活動に対しては、鯖江駅とサンドーム福井の動線に設置するLEDライト購入費の支援や除雪機の貸し出し等、活動しやすい環境づくりに対して側面的な支援をしている。

今後も、来訪者がまた鯖江を訪れたいと思える環境を一緒につくっていきたい。

問 中心市街地への誘導を含めたおもてなしについての考えは。

答 来訪者からの問合せで特に多いものは、お土産や飲食店、コンサート開演前に立ち寄れる場所等であると聞いている。

今後はウェブページを作成し、中心市街地の魅力的な商品や飲食店等の要望の多い情報を発信していきたい。また、コンサートの開催日に合わせて来訪者が興味を持つようなイベントを企画するなど、中心市街地への誘客やにぎわい創出を図っていきたい。



市民創世会
大門 嘉和 議員

鯖江東幼稚園の休園方針について

問 休園の方針に至った背景は。

答 鯖江東幼稚園は、定員65名のところ、平成29年度の入園数は44名、令和3年度は30名、令和4年度は23名であり、令和5年度の入園見込みは20名を下回る状況である。市では、平成29年3月に認定こども園化推進計画を策定し、地区の状況を考慮しながらこども園化を進めている。新横江地区では、令和2年度から私立の新横江保育園が認定こども園となったことにより、幼稚園児も対象となる1号認定児の受け入れが可能となったため、鯖江東幼稚園の現状や受入先の確保、保育ニーズも踏まえ、今回の休園に至った。

問 休園までのスケジュールおよび新横江地区の園児の受入れは。

答 令和5年度の募集をもって新入園児の募集を停止し、令和5年度入園の3歳児が卒園する令和7年度まで通常どおり開園し、令和8年3月に休園を予定している。

新横江地区内の1号認定児の受入れについては、鯖江東幼稚園の園児数が20人前後であることから、認定こども園しんよこえでの受入れは可能と考えている。

そのほかの質問

- 新横江公民館の改修について
- 神明苑の今後の在り方について



令和8年3月に休園が予定されている鯖江東幼稚園